

令和2年度 大分地方最低賃金審議会専門部会

- 1 日時 令和2年8月4日(火) 午前10時～
- 2 場所 ソフィアプラザビル 2階会議室
(大分市東春日町17番19号)
- 3 出席委員(敬称略)
公益代表: 城戸 照子、清水 立茂、松隈 久昭
労働者代表: 石本 健二、稲福 史、塩月 裕市
使用者代表: 飯田 聡一、中島 英司、藤野 久信
大分労働局: 岡本 労働基準部長、幡手 賃金室長、金丸 室長補佐
- 4 議 題
 - (1) 金額審議について
 - (2) その他
- 5 議事要旨
 - (1) 金額審議について
 - ア 前回の協議内容を確認し、協議を開始した。
 - イ 協議方式について
公労使が別室に分かれ、労使が個別に公益と協議し、金額審議を進めていき、その後全委員が集まり意見集約する方法とした。
 - ウ 協議要旨
労側委員からは、「労働者の生計費」、「類似の労働者の賃金」、「通常の事業の支払い能力」に関し、Dランク各県と比較した中で、大分県は他県を上回っていることの説明を踏まえた上で、前回提示から歩み寄った金額提示があった。
使側委員からは、県内企業の借入金が急増しており、資金繰りが厳しい状況にあること、コロナの影響を受けている対象事業場が最賃引き上げの影響を最も受けることになることなどの説明があった。
 - エ 協議結果
公益委員からは、労側、使側に全会一致の議決に向けて金額提示の再検討を勧めたが、結論をまとめるまでには至らなかった。
 - (2) その他

次回の専門部会は、8月5日（水）午前10時から開催することとなった。